

2004～2005年度



国際ロータリー会長 グレン E. エステス シニア
(アメリカ・シェイズバレーRC)

RIテーマ Celebrate Rotary ロータリーを祝おう

第2520地区ガバナー 小川 惇 (盛岡RC)

第6分区分ガバナー補佐 郷家 茂樹 (松島RC)

第33代会長	安住 仁三	直前会長	大場 光夫
副会長	齋藤 啓一	クラブ奉仕委員長	齋藤 啓一
幹事	大場 裕之	職業奉仕委員長	跡辺 孝志
会長エレクト	阿部 祝夫	社会奉仕委員長	大友 和弘
会計	田口 俊男	国際奉仕委員長	関 晴夫
監事	小野 薫	青少年奉仕委員長	加藤 千明
会場監督	伊東 清一	理事	中村 栄昭



異常ともいえる猛暑の夏、24回も発生し大きな被害をもたらした台風、11月に発生した新潟県中越地震、最後には半年前のインドネシアのスマトラ島沖で発生したインド洋大津波、これまでに確認した日本人の者36名で、連絡が取れない人たちは6人もいたそうです。そんな中で地区の組織の国際奉仕委員会の中に、災害救援委員会が設立され、ロータリークラブの災害支援の窓口を一本化して、災害に見舞われた方々に少しでも役に立つ奉仕活動をさせていただいたことに感謝を申し上げたいと思います。

2004-2005年度国際ロータリー会長の、グレン・E・エステスシニア氏は、国際ロータリー創立100周年を祝おうと提唱されました。その趣旨は、100周年の単なるお祭り騒ぎを行うというのではなく、過去100年の素晴らしい業績を祝い、現在のニーズを見つめ直して次の100年への方向性を見定めて、新たな出発しようという意味を持ったものであります。多賀城ロータリークラブも、この方針に従って事業を進め、活動して参りたいと考え、会員皆様のご協力をお願い致しました。

年度初めに私の重点目標として、6つほど掲げさせていただきましたが、然しながらも半分も目的を達成できなかったことに、深く反省し、残念な思いを致しております。

特に印象に残った事業は、8月5日の高岡万葉RC来訪、七夕見学、歓迎ゴルフ大会、横田会員ににお世話になったロータリーの翼の受入。10月には韓国3730地区江陵RCに宮城東蔵PTガバナーのお礼訪問をさせていただき、江陵クラブの方々から歓迎を受けたことや、12月の年忘れ家族会、3月の婦人招待例会と創立記念例会と合同で行い、岩崎わかな&ホセ・ルイス・パルボースの演奏会などの事業が思い出されます。

私ごとですがロータリーのクラブの会長年度にタバコを禁煙出来たことが忘れられない思い出になるでしょう。